

子どもの生活に関する実態調査について

(1)業務の概要

一人ひとりの子どもが夢と希望を持ち、自分らしく社会の一員として自立できるための有効な支援を導くために、本市の子どもの生活状況等の実態を把握すると共に、生活困窮が子どもの健康や生活状況に与える影響や、またその要因等について調査・分析します。

(2)調査対象者

子ども約3,000人(市立小学校5年生及び市立中学校2年生の全数)とその保護者約3,000人を予定しております。

(3)調査票(案)について

設問については、子ども用・保護者用別とし、それぞれ30～35問程度とします。
(設問案については、資料5を参照。)

(4)スケジュール(予定)

平成29年9月中旬～10月	調査票実施
平成29年11月以降	集計・分析実施
平成30年2月中旬	実態調査結果報告書提出